

調布市とアフラック生命保険株式会社による 包括的パートナーシップ協定の締結について

調布市（市長：長友 貴樹）とアフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏、以下「アフラック」）は、この度、地域の活性化と市民サービスの向上ならびに社会的価値の創出を目的とする包括的パートナーシップ協定を締結しましたのでお知らせします。

両者は、四半世紀にわたって築いてきた協力関係を一層強固なものとし、調布の街の持続的な発展と社会的課題の解決に向けて、それぞれが保有する特性・資源・ノウハウ等を活かしながら、これまで以上に幅広く多様な分野において連携・協力し、地域の活性化と市民サービスの向上、社会的価値の創出に取り組むことを目的として包括的なパートナーシップ協定を締結することとしました。

具体的には、本協定により両者の連携関係のステージを一段高め、これまでの定例会議に加え、下記の事項に関する情報共有・意見交換の場を設けるなど両者の具体的な連携・協力について検討・実施していきます。

包括的パートナーシップ協定における連携・協力事項	
1	街づくりの推進・地域の活性化に関すること
2	産業振興・市民雇用の創出に関すること
3	暮らしの安全・安心の確保及び地域防災力の向上に関すること
4	市民・地域就労者の健康の維持・増進に関すること
5	高齢者支援、障害者支援、子ども・子育て支援に関すること
6	生涯学習及び文化・スポーツ活動の振興に関すること
7	国際交流・多文化共生の推進に関すること
8	働き方改革及び人材確保・育成におけるダイバーシティ推進に関すること
9	SDGsの考え方の普及と取組の推進に関すること
10	その他、両者の協議により合意した事項

アフラックは、1994年に調布市に初の自社ビルを建設し、2007年には同市の企業立地等促進支援条例に基づく支援により調布駅前の再開発ビルに新たなオフィスを確保するなど事業基盤を拡大してきました。また、両者は2010年に「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定」を締結したほか、スポーツ・文化振興、障害者支援、教育、子育て支援などさまざまな分野の連携・協力事業を通して協力関係を培ってきました。

今後、両者は本協定に基づく定期的な協議とともに地域の街づくりの推進・地域の活性化を核とする企業・団体等の多様な主体との広域的な連携も追求していきます。また国や東京都の施策との連携も図りながら調布市、さらには多摩地域の振興にもつながるよう取り組みを推進していきます。

包括的パートナーシップ協定における連携・協力事項（詳細）

1 街づくりの推進・地域の活性化に関すること

2 産業振興・市民雇用の創出に関すること

上記 2 項目については、ソフト・ハード両面から相互に関係する項目として一体的に検討し、都市としての付加価値の創出、街のブランドイメージの向上を図りながら、在住市民の暮らしやすさと在勤市民の働きやすさを共に支える街づくりを推進し、調布の街の活力の維持・向上を目指します。

今後の検討事項として、調布駅周辺地区における街づくりのビジョンを共有し、両者の特性等を活かした企業誘致・集積に関する検討をはじめ、産業振興と地域活性化の推進、公共施設の総合的なマネジメントなどをテーマに関係者・有識者会議を協力して実施するなど、将来を見据えた街づくりに関する方向性や街の魅力向上に関する検討を行います。

自宅と職場が近くにある職住近接の街づくりの検討及びその具体化に向けた連携について検討を進めます。その中で、今後各省庁が実施するヘルスケアに関するプロジェクトへの参画や、多摩地域の大学と連携を図り、調布において実施できる実証実験について検討していきます。

3 暮らしの安全・安心の確保及び地域防災力の向上に関すること

首都直下地震など大災害を想定し、アフラックの事業所スペースを市民や調布駅周辺の帰宅困難者の臨時避難場所として開放することや、緊急医療救護所との連携など災害時に対応可能な具体的な協力内容について検討していきます。これらの内容について訓練等を通じて不断に改善・強化を図ります。また、地域における見守り活動への参加・協力を実践していきます。

4 市民・地域就労者の健康の維持・増進に関すること

5 高齢者支援、障害者支援、子ども・子育て支援に関すること

上記 2 項目については、従前より実施しているがん啓発・がん検診受診率向上に向けた取り組みや小児がん支援の「ゴールドリボン運動」に加え、アフラックが有するノウハウや知見を活かし、市民や地元企業に対して健康増進・介護予防の推進に向けた協力支援を行います。また、市内企業と連携した健康増進・介護予防などの具体的なプログラムの企画・実施を図っていきます。また、調布市とアフラック双方が会員となるコンソーシアムを通じて、調布市内でスマートシティ実証実験をはじめとした社会実証の実施を検討するほか、産官学の連携による実証実験に向け、多摩地域の教育機関との協力体制の構築を検討していきます。

企業内保育所の展開における連携についても継続的に取り組むほか、高齢者・障害者・子ども等すべての人々を包摂し、地域で共に支え合い助け合う地域共生社会の実現に向け、協力して取り組んでいきます。

6

生涯学習及び文化・スポーツ活動の振興に関すること

中学生の職場体験※やがん教育の推進、成人式や花火大会、市民スポーツまつり、市民駅伝大会など文化・スポーツ関連イベントの企画・協賛を引き続き実施していきます。また、調布市民・調布所在の企業に勤務する社員へのリカレント教育・寄付講座の実施を検討していきます。

※中学生職場体験では、アフラックの新宿高層ビルのオフィスやアフラックペアレンツハウス（浅草橋）での職場体験学習を実施しています。

7

国際交流・多文化共生の推進に関すること

ラグビーワールドカップ、東京 2020 大会が調布市で開催される機会を通じて、国際交流・多文化共生事業に連携して取り組むなど、地域貢献を検討・実施していきます。また、調布市や多摩地域の大学の留学生を対象にしたインターンの実施や就労機会の提供を検討していきます。先端技術を持った企業や人材の誘致を通じて、外国人を含めた市民や従業員が快適で住みやすく、働きやすい環境整備に向けた取り組みも検討していきます。

8

働き方改革及び人材確保・育成におけるダイバーシティ推進に関すること

アフラックが保有するノウハウ・知見を活かして、市内の企業に対する働き方改革・ダイバーシティ推進に向けた協力・支援を行います。

9

SDGsの考え方の普及と取組の推進に関すること

「調布市ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金」への寄付等を通じた環境保全活動への協賛を継続するとともに、SDGs の考え方を共有し相互の取り組みの推進にあたり必要な協力を実践していきます。

10

その他、両者の協議により合意した事項

上記 9 項目のほか、両者で協議のうえ合意した連携・協力事項に取り組んでいきます。

以上